

2019 年度（令和元年度）における実施結果について

1. 調査対象案件について

2019 年（令和元年）6 月 6 日に開催された第 3 回全体会議で確認された、

- (1) ミャンマーにおける統合水資源管理マスタープラン
- (2) インドネシアにおけるダム再生

の各案件候補について、水資源機構と国土交通省が現地調査等を実施し、案件形成に向けての検討を行った。

- (1) ミャンマーにおける統合水資源管理マスタープラン

現地調査を 3 回実施するとともに、案件の実施に向けて 2018 年度（平成 30 年度）から継続してミャンマー国政府や関係機関との調整を進めた。その結果、統合水資源管理マスタープランの必要性、重要性に関する理解が進み、同国政府から「バゴー・シッタン川流域統合水資源管理マスタープラン策定」についての要請書が 2019 年（令和元年）11 月、日本国政府に提出された。

なお、対象流域の統合水資源管理マスタープラン策定後に想定されるプロジェクトとして、施設の整備・運用等の分野で我が国事業者の参入可能性のある事業が見込まれる。

- (2) インドネシアにおけるダム再生

既設ダムの堆砂対策に関する検討を行うとともに、現地調査を 4 回実施し、インドネシア国政府や関係機関に対策の提案を行った。2020 年 2 月、同国政府から実施に向けた前向きな意向が示されたことから、我が国事業者の参入可能性のある案件形成に向け、2020 年度（令和 2 年度）も引き続き同国政府の開発計画との整合性及び同国政府の借入意思を踏まえつつ、案件化に向けた調整を進めることとしたい。

2. 水資源分野における技術情報の整理について

我が国に優位性のある水資源分野の技術のうち、海外展開の可能性のあるものについて、当該技術を保有する団体・企業等の協力を得て、構成員およびその会員企業等で共有する「水資源分野における日本の技術集（案）」を、2020 年（令和 2 年）3 月、日本語および英語にてとりまとめた。

以 上